

いろいろな動きを質問!

～ yes / no で答える一般動詞の疑問文～



学習のポイント

- いろいろな動きを質問できる
- 「誰を」と言える
- いろいろな動きを打ち消せる

英語監修・執筆 **鳥飼慎一郎**

いろいろな動きを質問できる

■コミュニケーション

これまで学習してきた **is** や **are** は、数学で言うイコールのような役割をしています。ある物や人が何かと同じであるということを表しています。**is** と **are** の違いは、単純に「数」の違いです。物であれば1つ、人であれば1人、いずれにしろ「1」であれば **is** を使います。**are** は、物であれ人であれ「2以上」である時に使います。英語という言葉は、このように「数」に対して大変敏感な言葉で、表す人や物の数によって **is** と **are** を使い分けます。

例外的に、自分のことを表す語 **I** は **am** とのみ一緒に使われ、それ以外の語と使われることはありません。相手のことを表す語 **you** は **are** とのみ一緒に使われます。これらも、**I am**…、**You are**…という形で、**I** と **you** がその後に来るものとイコールの関係であることを表しています。

前回から正式に学習が始まっている動作を表す語は、イコール関係ではなく、文字通り動きを表します。「トマトを育てる」「サッカーをする」「お湯を沸かす」「玉ねぎを切る」どれも動きを伴うものです。このことは以下の例でよくわかります。

Ryo is (=) a soccer player. (亮はサッカーの選手です)

Ryo plays (≠) soccer. (亮はサッカーをします)

Hina and Philip are (=) stage actors. (日梨とフィリップは舞台俳優です)

Hina and Philip stage (≠) a play. (日梨とフィリップは劇を上演します)

亮はサッカー選手ですが、サッカーではありません。日梨とフィリップは舞台俳優ですが、劇ではありません。このように **is** と **are** と他の動作を表す語とでは、その意味するところが大きく違います。ただし、「数」に対しては似ているところがあります。人や物が「1」の時には **is** を使い、他の動作を表す語では最後に **-s** を付けて使います。「2以上」の時には **are** を使い、他の動作を表す語はそのままの形で使います。

「誰を」と言える

■単語や表現

Philip kicks Hina.

誰が誰を蹴っ飛ばすのでしょうか。もちろん蹴っ飛ばすのはフィリップであり、蹴っ飛ばされるのは日梨です。しかしなぜそうだとわかるのでしょうか。それは語の順番がそうであることを表しているからです。動作を表す語 **kicks** の前にある語が蹴っ飛ばす人で、動作を表す語の後にある語が蹴っ飛ばされる人であることをこの文は語順で表しています。

では日本語でどうでしょうか。

「フィリップが日梨を蹴っ飛ばす。」

「日梨をフィリップが蹴っ飛ばす。」

フィリップと日梨を入れ替えても意味は同じです。その理由はフィリップや日梨について「が」と「を」があるからです。日本語ではこの「が」と「を」が、誰が誰を蹴っ飛ばすのかを表しています。英語にはこのような語はありませんので、語順で誰が誰を蹴っ飛ばすのかを表しています。

第7回で、同じ人について繰り返し述べるときには、男であれば **he** を使い、女であれば **she** を使うことを学びました。それを使って最初の文を書き替えるとうどうでしょう。

He kicks she. → **He kicks her.**

She kicks he. → **She kicks him.**

蹴っ飛ばすフィリップのほうはこれでいいのですが、蹴っ飛ばされる日梨のほうは **she** ではなく **her** を使います。この **her** は、日梨が蹴っ飛ばされる人であることを表しています。もしも蹴っ飛ばされるのが男のフィリップであれば、**he** ではなく **him** を使います。**he** と **she** は蹴っ飛ばす人を、**her** と **him** は蹴っ飛ばされる人について繰り返し述べる時に使うというわけです。

番組の最後に、

Do you love me?

No. I do not love you.

というセリフがあります。この **me** というのは、「私を」という意味です。1番目の文の **you** は「あなたが」という意味です。2番目の文の最後の **you** は「あなたを」という意味です。**you** は「あなたが」と「あなたを」という2つの意味を持ち合わせた語です。ちなみに、**her** は、「彼女の」と「彼女を」の2つの意味がありますので注意しましょう。

いろいろな動きを打ち消せる

■英語の決まり

is や **are** や **am** を使った文を質問の文にするには、**is** や **are** や **am** を文の最初に持って行き、打ち消しの文を作るときには、**is** や **are** や **am** の後に **not** を付ければよいということはこれまで何度か学習してきました。

John is a principal. → Is John a principal? → **John is not a principal.**

These maps are old. → Are these maps old? → **These maps are not old.**

では、**is** や **are** や **am** 以外の動作を表す語を使った文は、どうやって質問の文や打消しの文を

作るのでしょうか。それは、**do** かあるいは **does** を付けて作ります。

Your sons like soccer. → Do your sons like soccer?

→ Your sons do not like soccer.

John drives a car. → Does John drive a car? → John does not drive a car.

最初の文の **Your sons** は、**sons** と語の最後に **-s** が付いていますので、「2以上」であることがわかります。このような文の時には、**do** を文の始めに付けて質問の文を作ります。打消しの文は、動作を表す語 **like** の前に **do not** を付けて作ります。

2番目の文の **John** は、**I** でもなければ **you** でもなく、その数は「1」ですので、動作を表す語の最後に **-s** が付いています。このような文を質問の文にするときには **does** を文の始めに付けて作ります。打消しの文は、動作を表す語の前に **does not** を入れて作ります。細かいことですが、**does** を使うと、動作を表す語の最後についていた **-s** は消えて、動作を表す語は基に形に戻ります。

column

アルファベットと発音 ⑨

P p

ピーと発音します。同じ **p** でも語の始めに来た場合と、語の終わりに来た場合とでは発音のしかたが変わります。

例えば、**pop** という語では、語の最初の **p** の音は、唇をしっかりと閉じて勢いよく息を吹き出すようにして発音します。そのため、最初の **p** はパハと聞こえることがあります。そのくらい強く息を一気に出すということです。一方、**pop** の2番目の **p** は、唇を閉じ軽く開く程度に発音します。そのためほとんど聞き取れません。

top post のように、前の語の最後が **p** で終わり、次の単語の最初が **p** で始まるような場合には、最初の **p** は発音されずに唇を閉じたままで次の **p** の発音に移ります。その間、何も聞こえない無音の時間が流れるだけということになります。

このような音の変化が英語の聞き取りを難しくしている原因の1つです。



Q q

キューと発音します。英語では、**queen** や **question** に見られるように、**q** というスペリングの後にはほとんどの場合 **u** が来ます。**qu** という1セットで覚えるとよいでしょう。

queen とは、古い英語では「王様の妻」という意味です。さらに古い言葉では、単に「女、妻」を意味しました。一方、**king** とは、これまた古い英語で「一族や同族の長」という意味です。

